

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 1 部門第 2 区分
 【発行日】平成30年7月19日(2018.7.19)

【公開番号】特開2018-82972(P2018-82972A)
 【公開日】平成30年5月31日(2018.5.31)
 【年通号数】公開・登録公報2018-020
 【出願番号】特願2016-228730(P2016-228730)
 【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 0 4 D

A 6 3 F 7/02 3 2 6 Z

A 6 3 F 7/02 3 3 4

【手続補正書】
 【提出日】平成30年6月5日(2018.6.5)
 【手続補正 1】
 【補正対象書類名】特許請求の範囲
 【補正対象項目名】全文
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【特許請求の範囲】
 【請求項 1】

電気部品を制御するための制御手段と、

前記制御手段からのシリアル通信方式による制御信号に応じて、電気部品を駆動させるための特定信号を出力する出力手段とを備え、

前記出力手段は、複数の異なるグループにグループ化された特定信号出力部からパラレル通信方式による特定信号を出力し、

前記特定信号出力部からの特定信号の出力タイミングは、グループごとに異なり、

複数の発光素子を含む発光手段は、前記出力手段の同一グループの前記特定信号出力部から出力される特定信号にもとづいて発光制御され、

入力した制御信号を出力するときの出力状態を、所定態様により波形が立ち上がる第 1 出力状態と、該第 1 出力状態よりも緩やかな変化態様により波形が立ち上がる第 2 出力状態とのいずれかの出力状態に設定可能である

ことを特徴とする遊技機。

【手続補正 2】
 【補正対象書類名】明細書
 【補正対象項目名】0 0 1 0
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【0 0 1 0】

(手段 A) 上記目的を達成するため、本発明の遊技機は、電気部品を制御するための制御手段と、前記制御手段からのシリアル通信方式による制御信号に応じて、電気部品を駆動させるための特定信号を出力する出力手段とを備え、前記出力手段は、複数の異なるグループにグループ化された特定信号出力部からパラレル通信方式による特定信号を出力し、前記特定信号出力部からの特定信号の出力タイミングは、グループごとに異なり、複数の発光素子を含む発光手段は、前記出力手段の同一グループの前記特定信号出力部から出力される特定信号にもとづいて発光制御され、入力した制御信号を出力するときの出力状態を、所定態様により波形が立ち上がる第 1 出力状態と、該第 1 出力状態よりも緩やかな変

化態様により波形が立ち上がる第２出力状態とのいずれかの出力状態に設定可能であることを特徴とする。

(手段１) 本発明による他の遊技機は、電気部品(例えば、盤側ＬＥＤ９ｄ、９ｅや天枠ＬＥＤ９ａ、左枠ＬＥＤ９ｂ、右枠ＬＥＤ９ｃ、可動部３０２を回動させるための第１演出用モータ３０３、可動部材３２１をスライドさせるための第２演出用モータ３３０)を制御するための制御手段(例えば、演出制御用ＣＰＵ１２０)と、制御手段からのシリアル通信方式による制御信号に応じて、電気部品を駆動させるための特定信号(例えば、各ドライブ出力端子Ｑ０～Ｑ２３、Ｑ０～Ｑ１１からの出力信号)を出力する出力手段(例えば、発光体ドライバ４１１ａ、４１１ｂ、モータ駆動ドライバ４１２、発光体ドライバ４１３ａ～４１３ｃ)とを備え、出力手段は、複数の異なるグループにグループ化された特定信号出力部からパラレル通信方式による特定信号を出力し、特定信号出力部からの特定信号の出力タイミングは、グループごとに異なり(例えば、図９に示すように、ドライバ出力端子Ｑ０～Ｑ２３、Ｑ０～Ｑ１１からの出力信号の出力タイミングがグループごとに分散されている)、複数の発光素子を含む発光手段は、出力手段の同一グループの特定信号出力部から出力される特定信号にもとづいて発光制御される(例えば、図１７に示す変形例５のように、同じフルカラーＬＥＤに入力される信号に関しては、同じグループに属するドライブ出力端子に接続される)ことを特徴とする。そのような構成によれば、遊技機外部に対する電波放射を抑制しつつ、複数の発光素子を含む発光手段の発光タイミングのずれを抑制することができる。